学校だより
友垣
第９号
発　行
真和志中学校
中村　斉

学校教育目標
自ら学び
心豊かで
たくましく生きる
生徒の育成

21日（火）

全国学力・学習状況調査

問題に正対を!!

◆最後まで、粘り強く、あきらめずに

●調査の目的
◇義務教育の機会均等と水準の維持向上の観点から、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、成果と課題を検証し、その改善を図る。
◇学校における児童生徒への教育指導の充実や、や学習状況の改善等に役立てる。

●調査対象
◇小学校六年生と中学校三年生

●調査内容
◇教科に関する調査
（国語、数学、理科）
①主として「知識」に関する問題（A問題）
②主として「活用」に関する問題（B問題）
◇生活習慣や学習環境に関する質問紙調査
①生徒に対する調査
②学校に対する調査

●時間割
◇一時間目（国語A）
二時間目（国語B）
三時間目（数学A）
四時間目（数学B）
五時間目（理科）
六時間目（質問紙）

以上が、全国学力・学習状況調査の概要となっています。

調査の目的にあるように、全国の国・公・私立の小学校六年生と中学校三年生すべてが調査の対象となり、その結果から自分の学校の課題をみつけて、学習指導や学習方法の改善につなげていくためのものです。

◇「家庭学習」について③

子どもの「学ぶ力」は家庭学習から育ちます。「学ぶ力」を育てることは学校教育の重要な役割ですが、家庭での関わり方でその育ち方は大きく変わります。

家庭：●生活リズムを整え、決まった場所と時間で**学習に集中できる環境**を
●認め、励まし、対話のある**温かいふれ合い**を
学校：●子どもの良さを生かした**家庭学習の提案**を
●基礎学力をつけ、学び方を教え、主体性を育てる**学習指導**を

（「家庭学習の手引き」より）

◇調査への心構え

三年生の皆さんは、二十一日の当日は丸一日の調査を受けることになります。少しきついかもしれませんが、全国の中学三年生全員が同じ事に向き合っています。ぜひ、集中力を切らすことなく最後まで粘り強く、あきらめずに取り組んで下さい。

「問題に正対する」ということばがあります。これは、「その問題に対して真正面から相対すること」という意味です。今後、高校受験においても試験の問題や面接の質問に「正対」していくことになります。時間がある限り、空欄をつくることなく、さてばがなこくを下い。



ハーリー乗船練習

那覇ハーリーの練習が始まりました。１５日（水）は、総勢７０名余りの生徒が参加して、初めての乗船練習が泊港のハーリー会館前で行われました。

ライフジャケットを身につけて、男子生徒は黒、女子生徒は黄色のハーリー船に乗り込み、ウェーク（かい）の持ち方から指導を受けながら、発漕ぎに挑戦しました。はじめは不ぞろいだった櫂（かい）も、時間が経つにつれてドラの合図に合わせて揃うようになってきました。ほぼ１時間の練習を終えて帰ってきたときの顔は、疲れたものの心地よい海風を受けて充実感に満ちた顔になっていました。

本番当日まであまり時間はないですが、一人ひとりが一生懸命漕げるようにがんばって下さい。



男子チーム



女子チーム